



こんにちは。広川町地域おこし協力隊の染矢です。4月に活動任期を終了した山口さんに続き、私も6月で3年間の活動任期の終了を迎えます。

広川町のPRに関する企画や展示設計、イベントのサポートのほか、町のプロジェクトを磨き上げるためのクリエイティブ制作活動を行ってきました。

町の活性化やイメージアップへの貢献を目標にしつつ、ロゴやパンフレットなど、これからも活用できるものを残せたことは良かったと思います。

「Touch & Feel」展終了

活動の軌跡や感謝の想いを残すため、山口さん（写真左）、八女市の元協力隊の杉浦さん（写真右）と一緒に「Touch & Feel」展を3月から4月にかけて広川町役場と八女市役所で開催しました。それぞれの得意なスキルが絡み合い出来上がった企画に、3人3様の3年を織り込んだ展示となりました。

展示に触れて、感じてもらうための仕掛けとフリーワークショップを用意しており、材料が減っていったび、楽しんでいただけたかなと思いをはせていました。

来場者全員と言葉を交わすことはできませんでしたが、立ち寄ってくれた皆さんに感謝でいっぱいです。ありがとうございました。



これからも広川町に……

まずは私自身を知ってもらうこと、そして町のこと・町の人たちを知っていくことから始まった3年前。お互いを深く知るには長いようで短い3年間でしたが、今では名前を呼んでもらえることも増え、着実に広川町民になりました。町外から来た私の活動や意見に耳を傾けてくれた役場職員の皆さん、町の事業者の皆さん、そして、一緒に活動期間を歩んできた山口さんと杉浦さんという仲間の存在は大きく、そんな出会いがあった町にこれからも貢献していこうと決めて、任期終了後もクリエイティブ関係の仕事を広川町で行っていきます。想いや願いを一緒に考えて、多くの人に届けていくお手伝いができたらと思っています。

これからも町で見かけた時は、気軽に声をかけてもらえるとうれしいです。



▲今後、活動で使用する社名とロゴ



今回は、広川町を飛び出して、久留米の地場産くめめで毎年開催される「藍・愛・で逢いフェスティバル」会場に出張おにぎり。これまで、広川町の協力隊活動として、山口さんと杉浦さんと3人でさまざまなイベントに参加し、久留米餅のワークショップを開催してきました。「藍・愛・で逢いフェスティバル」はそんな活動の「はじめての場所」であり、「おわりの場所」でもあります。

多くのお客さまと話して、回を重ねるごとにワークショップを目的に来る人、私たちに逢いに来ってくれる人にも巡り合うことができました。「こんにちは」「ありがとう」「また逢いましょう」と交わした言葉の数だけ、活動を終了することに寂しさも募ります。

ひとつの区切りではありますが、この経験とご縁を生かして、これからの新しい活動へと繋げていけたらと思います。



4月8日(水) 福岡県トラック協会 児童生徒の交通安全のために

福岡県トラック協会八女分会から町内の小学校へ、「広川まち子ちゃん」のイラスト入りの横断旗が贈られました。



同協会は、飲酒運転の撲滅や制限速度の遵守など交通事故防止に向けたさまざまなキャンペーンの取り組みや、児童生徒を巻き込む交通事故撲滅のための交通モラルやマナーの啓発活動を行っています。

4月17日(金) JAふくおか八女広川ガーベラ部会 ガーベラ記念日に花束贈呈

4月18日(よいはな)の「ガーベラ記念日」を前に、JAふくおか八女広川ガーベラ部会から広川町へガーベラの花束が



贈られました。花束のほか、色とりどりのガーベラが役場玄関や各フロアに飾られ、庁舎を華やかな色と香りに包みました。大切な人への贈り物や部屋に彩りを添える花として、ガーベラはいかがですか。

4月9日(水) 広川中学校 大きな夢と希望を抱いて

広川中学校で入学式が行われ、182人の新生が中学生としての第一歩を踏み出しました。式では、石橋校長が「中学校は大人になるための練習をする場所です。失敗を恐れずに挑戦を重ねていきましょう」と言葉を贈り、新入生代表の末廣秋華さんは「新しい友だちづくりと、部活動を頑張りたい」と決意を述べました。在校生代表の岩崎咲花さんは「皆さんの支えとなれるよう全力でサポートします。中学校生活をともに楽しんでいきましょう」と歓迎の言葉を贈りました。



4月10日(金) 中広川小学校 笑顔と大きな声で元気いっぱい!

町内3つの小学校で入学式が行われ、上広川小学校20人、中広川小学校102人、下広川小学校36人、計158人の児童が新1年生となりました。中広川小学校の式典では、会場に音楽が流れる中、保護者や先生の拍手に迎えられ、児童たちが元気に入場。担任の先生から名前を呼ばれると一人ひとりが返事し、田中校長からのお祝いの言葉に「ありがとうございます」と大きな声で応えました。式典後、教室に戻るとこれから使う教科書を真剣に眺める姿がありました。

